

ユニセフ・シアター「グッド・ライ〜いちばん優しい嘘〜」報告

スーダン内戦で、両親や家を失った難民をアメリカに移住させる計画が実行され、渡米したマメール達4人はトラブルを乗り越え、成長していく。世話係のキャリーとの友情や、マメールが選択した「グッドライ」のラストシーンなど、感動のストーリー。マメール達4人は難民出身で、実話をもとにした作品。

7月18日(土) 盛岡 キオクシアアイーナ 74 名参加

7月20日(月) 花巻 まなび学園 51 名参加



盛岡会場



花巻会場



後援

岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会
花巻市教育委員会 滝沢市教育委員会

参加者の感想より

- ・スーダンや難民のことはよくわからなかったのですが、映画で知ることができました。
- ・難民の人々の苦しみ、兄妹愛についてあらためて感じることができました。人のつながりを考えさせられました。
- ・自分を犠牲にして、兄弟たちの命を救った兄、その思いを忘れなかった弟の愛。再会した時の感動に心が震えました。
- ・難民という言葉は聞いたことはあっても、実情を知ることはありませんでした。映画を見て「映画以上の大変な日常」が、世界で起きていることを強く感じました。自国第一主義を唱える大国の指導者など、これからの世界の進む方向に怖さを感じることもあります。映画のような活動があったことを知り、少し明るい気持ちになりました。
- ・人種差別や人権侵害は今も変わらない。難民がいる世の中、なぜ解消できないのかと。支援をしてもイタチごっこ。それでも命は大事。そのためにユニセフは活動をしていると思う。人種差別のつらさ、問題の大きさを痛感した。
- ・ウクライナやイスラエルのことも大事ですが、スーダンに関する報道はほとんどない。忘れてはいけない。
- ・今も各地で戦争が続いていますが、犠牲になるのはいつも子ども。一日も早く平和な世界に！・



ユニセフ支援グッズ展示



ベネズエラ緊急募金呼びかけ



盛岡会場 17,659 円

花巻会場 25,716 円

計 43,375 円

募金は、ベネズエラ緊急募金へ送金